

ダイトロン福祉だより

*** 真心こめた ふれあいと助け合い ***

＝ 発行 ＝

公益財団法人 ダイトロン福祉財団

〒520-3044

滋賀県栗東市伊勢落野神689-1

TEL (077)553-7681



理事長挨拶

令和2年第19回助成金の贈呈にあたって 令和2年9月吉日

公益財団法人 ダイトロン福祉財団

理事長 高本 敬

平素は、滋賀県また各市町村の方々には当財団に対しまして温かいご指導、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。また、メインサポーターのダイトロングループの法人、役員、社員の皆様方、またOBやグループの仕入先様には、毎年のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

さて、今年度（令和2年度）は8月に東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定され、我が国経済への多大な寄与が期待されておりましたが、ご存じのように世界規模での新型コロナウイルス感染拡大により、オリンピックの延期はもとより、世界経済・景気への悪影響が急速に広がってきております。

一般市民生活にも大きな影響が出ており、当財団の助成先である障害者施設の方々には感染防止対策等に大変なご苦勞をされていることと存じます。当財団も、本来なら9月に贈呈式を開催する予定でございましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けまして、助成先及び関係者皆様方の健康・安全面を第一に考慮した結果、贈呈式は中止とする苦渋の決断を行いました。

まだまだ不透明な状態が続いてはおりますが、海外では一部の国においてワクチンの接種が始まっており、日本においてもワクチンの治験が開始され一筋の光明が差し込んでまいりました。一日も早く日常が戻ってくるよう、感染防止に努めるとともに、一人一人ができることを考えていきたいと思っております。

当財団は皆様方のご支援とご協力のおかげをもちまして、本年、令和2年で創立20周年を迎えることができました。助成事業におきましては今年度19回目の助成となり、3月9日から助成金の申し込みを募り83団体様からご応募を頂きました。その後、選考委員会、理事会と適正・厳正な審査を行い、助成先を次のように決定いたしました。

- 1 障害者福祉サービス事業等に対する設備助成事業
お申し込み 71件の中の 33件 3,459万2千円
- 2 障害者の社会参加の促進と生活向上等に寄与する調査研究のための助成事業
お申し込み 1件の中の 1件 150万円
- 3 障害者の社会福祉向上に寄与する設備等の特別助成事業
お申し込み 11件の中の 9件 1,308万5千円

合計43団体様に対しまして、総額4,917万7千円の助成金の贈呈を行いました。今回、助成を受けられた団体様におかれましては、常日頃から障害のある方もない方もともに働き、ともに暮らしていける環境づくりにご尽力され、またその実現に対して積極的に対応されたことが高く評価され、助成の運びとなったものです。助成先の皆様には感謝とともに深く敬意を表したいと思います。

来年令和3年度は、当財団が助成事業を始めて20回目の記念すべき「第20回記念助成事業」を実施する予定で御座います。助成金額につきましても、今年度以上の助成を行う予定ですすめており、障害者支援の方々のお役にたてるものと考えております。

当財団は、滋賀県の皆様とともに、「県民一人ひとりが輝ける健やかな滋賀県の実現」にむけて微力ながらも地域に根差した社会貢献活動を行ってまいります。

寄稿 第19回 障害者福祉助成金事業に寄せて



ダイترون福祉財団助成金事業によせて、お礼の言葉を申し上げます。

ダイترون福祉財団様におかれましては、本県の障害福祉関係団体に対しまして、平成14年から毎年助成をいただいております、これまでの助成総額は約4億8千万円にのぼります。

今年度も、43団体に対して、就労訓練設備や送迎車両等への助成、また当事者団体の活動に対する助成など、昨年度を上回る多額の助成をいただきました。地域貢献への志をもって民間における支え合いを実践されている貴財団の活動に敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

贈呈を受けられました団体の皆様におかれましては、日頃から、障害のある人もない人も、ともに働き、ともに暮らしていける環境づくりのために身近な地域で御尽力いただき、ありがとうございます。贈呈された助成金を活用され、障害のある人の就労の促進、地域生活の充実、障害のある子どもたちのニーズに応じた支援の充実につなげていただくことを期待しています。

長期化する新型コロナウイルス感染症により、あらためてひとの「いのち」と「健康」を守ることの重要性を痛感しています。障害のある人の支援に携わっていただいている皆様におかれましては、困難な状況の中で支援を継続していただいていること、県民を代表してあらためて感謝申し上げます。県としましては、感染拡大の防止等、必要な取組を引き続きしっかりと進めてまいります。

本県では、現在「新滋賀県障害者プラン」の改定に向けまして、小委員会等を設置し、障害のある当事者や関係者の皆様と一緒に検討を進めているところです。このコロナ禍においても、「県民一人ひとりが輝ける健やかな滋賀の実現」に向けて、全力で取り組んでいきたいと考えております。そして、滋賀で大切にされてきた福祉の思想と実践を未来につなぎ、「誰一人取り残さない」共生社会の実現に力を注いでまいりますので、今後とも皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、高本理事長様をはじめ役員の皆様、審査委員の皆様、さらに財団をお支えいただいている事務局や関係の皆様へ改めて敬意を表しますとともに、障害者福祉に関わってくださる皆様の御健勝とますますの御活躍をお祈りし、お礼の言葉といたします。

滋賀県知事 三日月 大造

公益財団法人ダイترون福祉財団が、この度設立20周年を迎えられましたことに対しまして、心からお慶び申し上げます。

貴財団におかれましては、障害福祉サービス事業所等の設備や福祉車両の購入にかかる助成、障害者の福祉向上に寄与する活動に対する助成など、多岐にわたり積極的かつ継続的にご支援をされ、滋賀県における障害者福祉の充実と発展に大きく貢献されてこられました。高本理事長様をはじめ役員の皆様、選考委員の皆様、事務局の皆様、全ての関係者の方々のご尽力に、深く敬意と感謝の意を表します。

現在、人口減少と少子高齢化といった深刻な社会情勢の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大といった予期せぬ事態が、社会全体に大きな影響を及ぼそうとしています。

障害のある方を取り巻く現状は依然として厳しい状態にありますが、本市では「おおつ障害者プラン」を策定し、障害のある人の生活に関わる様々な分野における取り組みを総合的かつ計画的に進めているところです。市民の皆様の声を反映しながら、一人ひとりが尊重され、誰もが心豊かに暮らせる共生のまち“大津”を目指して参りますので、関係の皆様方におかれましては、引き続きご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりましたが、関係者の皆様方のご健勝とご多幸並びに公益財団法人ダイترون福祉財団の益々のご発展を御祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

大津市長 佐藤 健司



公益財団法人 ダイトロン福祉財団のヒストリー

設立趣意 <高本善四郎の志>

昭和27年(1952年)に故高本善四郎が現在のダイトロングループの基礎となる大都商事株式会社(現ダイトロン(株))を大阪市北区に設立。同会社が、2001年で50周年を迎えた事を記念して高本善四郎が私財を投じ、ダイトロングループ各社からの賛同も得て財団法人ダイトロン福祉財団を滋賀県に設立したものです。

高本善四郎は、ダイトロングループが長年お世話になった滋賀県に貢献したく、同財団を通じて滋賀県に住んでおられる障害者の人達への援助のため、「真心こめたふれあいと助けあい」の精神で地域に根差した社会貢献活動を行っています。



【故 高本善四郎】

ダイトロン福祉財団の歩み

◇1952年(昭和27年) 大都商事株式会社を設立

◇1998年(平成10年) 大都商事からダイトエレクトロン(株)に商号変更

◆2001年(平成13年) 財団法人ダイトロン福祉財団設立(12月18日)
初代理事長 高本 善四郎 就任
ダイトエレクトロン(株)(旧大都商事(株))創立50周年



【財団の事務所がある
滋賀県の栗東工場】

◆2002年(平成14年) 第1回障害者福祉助成贈呈式を10月21日天津プリンスホテルにて開催
<助成先27団体、助成金額17,969千円>

◆2003年(平成15年) ダイトロン福祉財団の機関紙である「福祉だより」第1号を発行

◆2007年(平成19年) 紺谷 健治 第2代理事長に就任

◆2011年(平成23年) 公益財団法人への移行(移行日:7月21日)
<公益財団法人 ダイトロン福祉財団へ>
高本 敬 第3代理事長に就任
第10回記念助成贈呈式を9月6日ピアザ淡海にて開催
<助成先26団体、助成金額17,559千円>
<増田明美氏(マラソン選手、タレント、政治家)による特別講演>



【増田明美氏】

◇2017年(平成29年) ダイトロングループ3社が統合、ダイトロン(株)が誕生

◆2020年(令和2年) ダイトロン福祉財団 設立20周年
ダイトロン福祉財団 ウェブサイトを新規開設
< URL: <https://daitron-fukushi.org> >

◆2021年(令和3年) 第20回記念助成贈呈式開催予定

*黒文字は、メインサポーターのダイトロン(株)のヒストリー

第19回 障害者福祉助成金贈呈先

43団体 助成金総額 49,177,000円

§第1号事業 障害福祉サービス事業所などに対する設備費等助成事業 33団体 34,592,000円

団体名	地域	助成内容
(社福) 洛和福祉会 障がい者就労支援事業所 らくわ	大津市	車いす、マット乾燥機の購入
NPO法人 こほく自立応援センター グループホームすみれ	長浜市	グループホームのトイレ改修工事
(社福) ゆたか会 わーくる夢	高島市	災害時避難用ストレッチャー(エアストレッチャー、ラップ・ローバル)の購入
(社福) しが夢翔会 いちばん星桐生	大津市	しいたけ乾燥機(電機乾燥機 E-3H)の購入
NPO法人 すまいる スマイルくさつ	草津市	食事・活動用テーブルの購入 2脚
(社福) いしづみ会 いしづみの家	大津市	【車】トヨタ タウンエースバンの購入
NPO法人 障害者自立支援センター 葦の舟	彦根市	【車】ダイハツ アトレーワゴンの購入
(社福) おうみ福祉会 おうみ作業所	近江八幡市	移乗介護用リフト(シーホネンス ゴルボ9000)の購入
NPO法人 けいかん 共働作業所 けいかん	甲賀市	自走式草刈機 HRC804STEPの購入
NPO法人 むげ	湖南市	【車】ホンダ Nバンの購入
(社福) 大木会 グループホーム碧天(あおぞら)	湖南市	【車】トヨタ カローラフィールダーの購入
NPO法人 スポーツネットワーク ぽびぶべぼん	栗東市	【車】ダイハツ タントスローパーの購入
(社福) 共生シンフォニー	大津市	新規生活介護施設の異動用リフト(EL-580他)の購入
NPO法人 長浜みなみ会 長浜みなみ共同作業所	長浜市	【車】マツダ タイタン 1.5tトラックの購入
NPO法人 ウェルメント ウェルメント米原 4	米原市	【車】ニッサン NVクリッパーリオ 車いす仕様の購入
NPO法人 蓬萊の家 菜の家共同作業所	大津市	公園型シェア農園 土地造成、販売所製作工事
学校法人 関西福祉学園 働き教育センター 甲良	犬上郡	温室及び発芽器(ブルーリボンプチカ、花・野菜専用発芽器)の購入
(社福) 湘南学園 れもん会社	大津市	施設設備改修(汚水ポンプ取替)工事
(社福) きぬがさ福祉会 きぬがさ作業所	近江八幡市	【車】ニッサン キャラバンの購入
(社福) 八身福祉会 八身ワークショップ	東近江市	【車】スズキ スペーシアの購入
(社福) 草津市社会福祉協議会 草津点字グループ あゆみ会	草津市	点字プリンター(ESA919)の購入
(公財) 滋賀県身体障害者福祉協会	草津市	障害者福祉センター トレーニング室用ランニングマシン買換え
(社福) さわらび福祉会 第二さわらび作業所	甲賀市	【車】トヨタ レジアスの購入
(社福) よつば会 あったかグループホーム	栗東市	【車】スズキ ワゴンRの購入
(社福) 蒲生野会 サンライズ	東近江市	【車】トヨタ ハイエース(10人乗り)の購入
(社福) 米原市社会福祉協議会 ほおずき作業所	米原市	【車】スズキ キャリーの購入
(社福) 湖南会 もりじろう	守山市	【車】トヨタ ノア 車いす仕様の購入

(有)Ihoujin 適応教育教室 ハーフステップ	大津市	事務所トイレ改修工事(男女トイレ床材変更、壁の塗替え工事)
NPO法人 真 フォーラムはな	長浜市	施設改修及び遊具設置工事(雨漏り修理及びボルダリング設置)
(株)イケダ光音堂 キッズパーク放課後等デイサービス	長浜市	フェンス設置工事一式
(社福)パレット・ミル 自立就労センターパレット・ミル	栗東市	トヨタエンジンフォークリフト(02-8FDL15)の買い替え
(株)チャレンジファーム	湖南市	【車】スズキ エブリイの購入
NPO法人 元気っずミーオ	草津市	【車】ニッサン クリッパーの購入

§第2号事業 障害者の社会参加の促進と生活向上等に寄与する調査研究のための助成事業 1団体 1,500,000円

(社福) 滋賀県聴覚障害者福祉協会	草津市	滋賀県における高齢の聴覚障害者のニーズ調査研究
-------------------	-----	-------------------------

§第3号事業 特別助成事業 9団体 13,085,000円

NPO法人 さんまクラブ 放課後等デイサービス さんま	甲賀市	【車】ホンダ ステップワゴンの購入
SUNNYSIDE 合同会社 おひさまはうす	草津市	【車】ニッサン NV クリッパーリオ 車いす仕様の購入
(社福) 汀会 止揚学園	東近江市	衣類乾燥機(タンブラー乾燥機 STT30)の購入
(公社) おうみ犯罪被害者支援センター	大津市	「デートDV 予防啓発」のための教育資料の作成費用(印刷製本代、人件費他)
NPO法人 BRAHart	大津市	地域社会応援のための冊子、デザインその他作成費用
NPO法人 きらら きららホーム	草津市	青地ホーム耐震化工事、屋根瓦葺替工事他
(社福) 虹の会 ドリーム・あんです	高島市	自主製品販売強化による工賃向上プロジェクト
(社福) こなんSSN 凧日和(カイトビヨリ)	東近江市	凧日和新築移転に伴うエレベーター設置工事
第17回土と色京都展実行委員会	甲賀市	第17回土と色一ひびきあう世界京都展



公益財団法人 ダイトロン福祉財団 役職員名簿

評議員会長 紺谷 健治	理事長 高本 敬	選考委員 樽井 康彦
評議員 嶋川 尚	専務理事/事務局長 森谷 敏春	選考委員 長尾 修治
評議員 中村 きよ子	理事/選考委員 丸山 英明(新任)	選考委員 小林 治一良
評議員 山下 陽一	理事 森 尚一	選考委員 城 貴志
評議員 前 績行	理事 高橋 信二	事務局職員 寺嶋 喜一
評議員 益野 忠彦	監事 岡田 定一	事務局職員 木村 恒子
	監事 谷口 正樹(新任)	

●当財団の活動報告や収支状況は当財団のホームページでご覧いただけます。

<https://daitron-fukushi.org>

第19回 助成金をいただいて【謝辞】

社会福祉法人 汀会 止揚学園 園長 福井 生(いくる)

この度、ダイترون福祉財団様より第19回障害者福祉助成金助成を頂きました43団体を代表致しまして、厚くお礼申し上げます。本来ならば、直接にお礼の言葉をお伝えさせていただきたかったのですが、新型コロナウイルス感染拡大予防の為、この書面をもっての失礼をお許しいただきたく存じます。

この、新型コロナウイルス感染予防の為私たちの生活はガラッと変わってしまいました。そして、人と人が近づかなければ命を守ることが難しい福祉の現場にいる私どもにとっては、マスク越しの会話、人と人が距離を開けることを要請される日々は、心にブレーキをかけざるを得ない不安な日々でした。

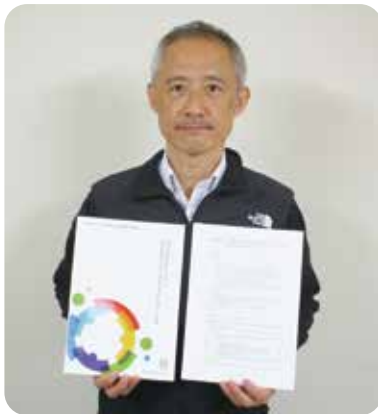
そのような毎日の中、ダイترون福祉財団様よりのこの度の助成は、それぞれの団体の必要に対して、温かい大きな励ましと、前を向いて進んでいく力を与えられたこととございます。

ダイترون福祉財団の皆様はじめ、各団体の皆様のご健康が守られますように心よりお祈り申し上げつつ、心からのお礼の言葉とさせていただきます。



助成対象事業の事例発表

認定特定非営利活動法人 あさがお 所長 中原 一隆



あさがおは障害者の方等の権利擁護・成年後見を行うNPO法人で、現在、成年後見活動では125人程度の方の成年後見人等として活動しています。

日頃から権利擁護・法人後見活動を行う中で大切にしていることは、障害者ご本人の“思いや気持ち”です。しかし、思っているだけではご本人の“思いや気持ち”を大切に活動は出来ません。そこで今回、ご本人の“思いや気持ち”を大切にする（意思決定を支援する）具体的な方針を作り、障害者ご本人の地域生活のための法人後見の質の向上と自己決定の尊重に資するべく、（公財）ダイترون福祉財団様の助成事業に申請させて頂きました。

助成対象事業では、弁護士、司法書士、社会福祉士等専門職後見人への郵送調査、障害者ご本人へのインタビュー調査、先進団体へのヒアリング調査を行い、最終、法人後見の基本指針（ガイドライン）としてまとめ上げました（次はガイドラインの概要です）。

- 《目的》 障害者本人の“思いや気持ち”を大切にする障害者法人後見の実現
- 《目標》 障害者本人の“思いや気持ち”を感じ取る、理解する。そして、それを基本にした後見活動をする。
- 《実践》
 - 1 財産管理だけでなく身上保護も重視する
 - 2 本人“その人”を知る
 - ・出来るだけ本人に出会う
 - ・本人が話しや感情を出せるように環境を整える
 - ・本人と“つながる”
 - ・本人の支援者や家族と“つながる”
 - 3 本人の行動等への“思いや気持ち”を感じ取る・理解する
 - ・様々な手段を使う

- ・ 様々な場を活用する
- 4 パターンリズムを意識する
- 5 本人の思いや考えと成年後見人等の思いや考えが異なるときは十分に話をする
- 6 振り返る
- 7 その他
- ・ 継続する ・ 自分の技を磨く ・ 理解者を増やす

今後は、全職員でこのガイドラインに沿った活動に取り組んでいきたいと思っております。

最後になりましたが、このようなガイドラインを作成出来たのは、(公財)ダイترون福祉財団様、調査・インタビュー・ヒアリングにご協力頂いた方々、検討委員会の皆様等多くの方々のご協力のお蔭です。紙面をお借りし、心よりお礼申し上げます。有り難うございました。



特定非営利活動法人 こほく自立応援センター 理事 本田 智見

こほく自立応援センターは、湖北エリアにお住まいの方を対象に長浜市にて平成21年より就労継続支援B型事業を行っており、令和2年度で12年目になりました。

ご利用者様は、精神しょうがい又は知的しょうがいの方で、地域の養護学校のご卒業生さんも多数受け入れており、ひとりひとりの目標に向かって日々地道に活動しております。

平成30年に、ダイترون福祉財団様より特別助成事業として「ウェルネスプログラム（音楽療法）事業」へ助成を頂きまして、電子ピアノとオーディオプレイヤーを購入させて頂いております。有難うございました。

この事業は、事業所内において健康保持、増進の一環として月に1度、音楽療法の先生にお越し頂き、ご利用者様へ向けた音楽療法を支援のひとつとして実施しております。

私達の事業所は、平均工賃が月額3万円を超えており、日々慌ただしく様々な作業を行っているのですが、この時間だけは作業の手をとめて、音楽を通じて心身のリラックス、ストレス発散、歌うことによる心肺機能の向上を目的に、楽しみながら過ごしています。

メリハリのある時間を過ごすことによって、皆さん気持ちも身体も元気になって通所してくださっています。ピアノは、購入してから2年経過しましたがもちろん大事に使用しておりますし、今後も長く使っていきたいと思っております。

就労継続支援B型事業所とは、作業等を通じて働く知識や訓練を得て頂くサービス提供の福祉事業所ですが、当法人のこほく自立応援センターはしっかり工賃向上も目指しながら、訓練・作業だけではなく、楽しむ時間も作り、ご利用者様の前向きに生きていく日々と並走できたらと思っておりますので、どうぞ今後とも宜しくお願い致します。



寄稿

滋賀県における障害者差別解消と 共生社会づくりに向けた取り組みについて

龍谷大学 社会学部 准教授 樽井 康彦



(龍谷大学のホームページより)

私は以前、関東地方にある知的障害者入所施設で生活支援員として勤務していました。当時の施設長は、次々と斬新なアイデアでサービスの改善に取り組む方で、民間財団の助成金などに積極的に応募し、活用していました。人、モノ、カネの資源が足りないことを言い訳にせず、社会に広く呼びかければ、様々な援助を得て新しい事業をすることができると教えられました。現在私は龍谷大学で教員をしていますが、ダイトロン福祉財団様の助成事業を知り、この事業が現場にとってどのくらいありがたく役立つものであるか、自分自身の現場体験を思い出しつつ、心より敬意を表します。

滋賀県と言えば糸賀一雄先生の実践と思想があり、多くの先駆的取組が行われている障害児・者福祉の先進地であることは、関西に来る前から知っていました。この度、僭越ながら寄稿する機会をいただき、滋賀県で昨年4月に施行された「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」について述べたいと思います。

近年、国内外で障害者の人権に関する法制度が次々と整備されています。2006年に国連で採択された「障害者の権利に関する条約」に、わが国が批准したのは2014年1月でした。同条約批准に向けた動きの中、2010年代を中心に国内法の整備が進められてきました。2011年には、障害者基本法の大幅改正により、障害者差別の禁止と合理的配慮の提供義務が規定（第4条）され、同年には障害者虐待防止法（「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」、施行は2012年）が制定されました。さらには2013年に「障害者差別解消法」（「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、施行は2016年）が制定、また障害者雇用促進法（「障害者の雇用の促進等に関する法律」）も改正され精神障害者の雇用が法的義務になるなど、人権を擁護し社会参加を促進するための改革が進められてきました。

これらの国の動きだけでなく、地方自治体においても独自の積極的な取り組みが行われてきました。滋賀県では、2012年に障害者団体から県に対し障害者差別禁止条例の制定に向けた要望が出され、それに応える形で滋賀県社会福祉審議会の検討を経て知事への答申が出されました。その後、県内各所でのタウンミーティング開催など広く検討の機会が設けられ、2019年4月に「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」施行されました（全部施行は10月）。

この条例には、国が定めた障害者差別解消法をより発展させたというべき特徴がいくつかあります。それは、この条例が「障害の社会モデル」の考え方を定義していること、合理的配慮の提供等を義務化（一部努力義務ではなく）していること、そして相談・解決の仕組みを整備していることなどです。ここでは1つ目の「障害の社会モデル」について述べたいと思います。社会モデルとは「障害のある人が日常生活または社会生活において受ける制限は、障害のみに起因するものではなく、社会的障壁と相対することによって生ずるものという考え方」です。この定義からは、糸賀先生の名著「福祉の思想」（1968年）の次の言葉を想起させられます。「このひとたちが、じつは私たちと少しもかわらない存在であって、その生命の尊厳と自由な自己実現を願っており、うまれてきた生き甲斐を求めていることを友愛的に共感して、それが本当に社会の常識となることへの道行が『福祉』の内容となるのである」（p.64）。私たち一人ひとり、社会全体の変革こそが「福祉」の実現であるという、もっとも根本的な、重要な理念です。この言葉が半世紀を過ぎた今でも全く色あせず、この条例の理念の背後に存在し続けていることを実感しています。



令和2年 第19回

助成金贈呈先からの

おたより

(誌面の都合上、皆さんからいただいた原稿の一部を編集させていただいています)

(社福) 洛和福祉会 障がい者就労支援事業所 らくわ 【大津市】

当事業所では、福祉用具の貸与業者から返却された車椅子や介護用ベットなどの洗浄や消毒、軽微な修理を請け負い、次のお客さまのためにきれいに安全に仕上げる仕事を行っております。

今回の助成金は「車椅子・マットレス乾燥機」の導入に大きな支えとなりました。車椅子の座面には厚みのあ



るクッションが施されているタイプがありますが、従来の乾燥方法は天日干しやエアコン乾燥でした。この方法では時間を要する割には中まで乾燥しきれず、衛生面に課題がありました。今回導入させていただく「車椅子・マットレス乾燥機」を用いれば、約2時間で乾燥でき、衛生面だけでなく作業効率も良くなり、引いては利用者への工賃にも反映することができ、より自立した生活につながります。

これからも「車椅子・マットレス乾燥機」がフル回転できるように車椅子の作業依頼を増やせるよう、関係機関に働きかけを行ってまいります。



NPO法人 こほく自立応援センター グループホームすみれ 【長浜市】

この度は、グループホーム「自立ホームすみれ」へのトイレ改修工事への助成を頂き、誠にありがとうございます。空き家を改修してグループホームの運営を

開始しましたが、予算上、トイレの改修ができずに困っておりました。調子も悪く、何度か修理しながらなんとか使用しておりましたが、今回



工事を行うことによって、念願の綺麗なトイレ空間を整えることが出来ました。利用されていますグループホームの利用者5名と支援員スタッフ達も気持ちよく過ごすことができるようになり、喜んでおります。心よりの感謝を申し上げます。お手入れを欠かさず、大切に使用していきます。有難うございました。

(社福) ゆたか会 わーくる夢

【高島市】

わーくる夢(就労継続支援B型)では、今回の助成金によりエアーストレッチャーを購入させていただきました。当事業所では主な活動場所が2階となっており、通所いただいている方の火災等の災害時の避難を考えた時に車イスユーザーの方や階段の利用が困難な方の避難が課題となっていました。

これまでも避難訓練を行っていく中で消防の方からも車いすからイスに乗り換えての避難などの助言をいただきすめていましたが、ご本人や職員からも不安



定な方法での避難となり心配であるといった声がありました。

今後は今回のエアストレッチャーを用いた訓練を行う中で、少しでも不安を取り除ける避難の方法を考え、災害時に備えつつ、ご利用者が安心して通所いただける事業所となっていきたいと考えています。

(社福) しが夢翔会 いちばん星桐生

【大津市】

当事業所では、開所時よりしいたけの原木栽培を続けております。通所者の方々と年間通じて原木に菌を打ち込むところから始まり、定期的に動かしたり、水をやりたりして栽培を行っております。年々原木が増え収穫量が増えると共に、配布するタイミングを逃しいたけを痛めてしまう時がありました。この課題を解決する為に、この度ダイトロン福祉財団様より助成金を頂き、野菜の乾燥機を購入させて頂きました。

収穫したしいたけは、事業所の関係者や繋がりのある事業所に配布している事が多く、まだまだ地域の方に知ってもらい配布するまで実施できていないのが現状です。今後は、乾燥機も使用しながら、通所者の方々が日々頑張って栽培しているしいたけの出先を拡げ、皆様と繋がっていただける事業所を目指していきたいと思っております。この度は、誠にありがとうございました。



NPO法人 すまいる スマイルくさつ

【草津市】

このたびは活動用テーブルの購入に対する助成金をいただき誠にありがとうございました。スマイルくさつは重度知的障害のある方の生活介護事業所として、26名の重度知的障害のある方の日中活動を支援して

います。活動スペースが狭いため作業も昼食も同じ会議用テーブルを使用していましたが、発達障害の特性がある利用者のパーソナルな作業環境づくりや、コロナ禍で三密を避ける空間作りの必要性から、脚が曲がってきたことを機に複数の正方形のテーブルを購入し、用途に応じて組み合わせることにしました。

長方形のテーブルでは多数が向かい合うため、周囲の人たちの動きに影響されることが多くありましたが、正方形テーブルでは他者との距離を離したり、間に仕切りを入れることで、集団の苦手な利用者が作業に集中できる効果が生まれています。また、食事の場面でも利用者同士の距離を保つことができ、感染症予防に役立っています。



(社福) いしづみ会 いしづみの家

【大津市】

これまで22年間、私達の移動手段として活躍してくれた、タウンエースは、いしづみの家が開所した時に、故 高本善四郎氏から寄贈していただいた車です。大切に使用させていただきましたが、さすがに老朽化が進み、買い替えを検討していました。そんな時、ダイトロン福祉財団様の助成が決まり、新しいタウンエースを購入することができました。

コロナ禍の影響で納車が遅れましたが、そのおかげで安全性能が強化された新型タウンエースに変更されました。市の委託清掃作業や、除草作業、リサイクル事業などで早速活躍してくれています。特に、花のメンテナンス時には、32ℓもの土が入るプランターを、多い時には10台も積み下ろしをするので、腰に負担



が少ない荷台の高さや、開口の広さが丁度よく、作業をしやすくなり、大変助かっています。利用者さんも安心して乗車していただけるようになり大変喜んでいきます。2代目タウンエースもいろいろな事業に活躍してくれそうです。本当にありがとうございました。

NPO法人 障害者自立支援センター 葦の舟

【彦根市】

当法人は2002年に障害当事者主体で設立し、翌年の4月より障害者の居宅介護事業所を運営してきました。始めは利用者の方も少なく、車両も3台で十分足りていましたが、地域のご要望もあり、利用者の方の

人数も増えていき、今では7台の車両を有し、障害がある利用者の方の外出支援や通院介助に、またヘルパーの移動にと日々



サービスに使いフル稼働している状況です。そして17年間で、何台かは購入いたしました。大分年月の過ぎた車両もありました。

この度は、ダイトロン福祉財団様より助成をいただき、走行距離10万キロを超えた福祉車両を買い替えることができました。これからも当法人の活動理念に謳っております「障害者など、一部の人を排除することのない、誰もが地域の中で、つながり合い、共存し合いながら、幸せに暮らせる社会」を目指し、障害者の地域生活をサポートさせていただく上で大切に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



(社福) おうみ福祉会 おうみ作業所

【近江八幡市】

この度は『移乗介護用リフト購入』への助成金を賜り、

誠にありがとうございます。当事業所では重症心身障害のある方が5名在籍しており、移乗には男性職員2名以上での人力による介助をさせてもらっていましたが、1日何回も移乗の機会があるので職員の足腰にも負担



のですが、今回購入させていただいた移乗介護用リフトを利用してもらい、職員の負担をかなり軽減することができています。

利用者さんもリフトでの移動は安定しているので落ち着いて利用されています。女性の職員さんも使えるので利用者さんが移乗したいタイミングで移乗が出来るようになりました。

今後も利用者さんへのより良い支援に役立てるよう大切にに使わせて頂きたいと思います。

NPO法人 けいかん 共働作業所 けいかん

【甲賀市】

共働事業所けいかんでは、清掃や草刈りを市役所や市内企業を中心に活動を行っています。これまでは肩がけの草払機を使い様々な場所の草刈を行ってきました。今回の助成金で自走式の草刈機を購入させていただき、特に平地での作業の安全面と効率が大幅に向上しました。また、操作も分かりやすく、誰でも



同じ様に使えるというのも大きいです。これからも利用者と従業員が共に働き地域に貢献できる様に発展していきたいと思えます。この度はこの様な助成をいただき大変感謝しています。ありがとうございました。

NPO法人 むげ

【湖南市】

この度、公益財団法人ダイトロン福祉財団より新車購入助成金を頂きまして、本当にありがとうございました。

さて、当事業所ではこれまで訪問販売体制(軽ワンボックス自動車2台)を2班(1班1台利用者1名・指導員1名計2名×2班=4人)で活動していましたが、この度の訪問販売専用自動車(ホンダ軽ワンボックス自動車 N-VAN) 購入・増車1台



プラスの計3台により3班体制(利用者3名、指導員3名の計6名)と拡充されたことにより、利用者の接客販売業(接客マナー、販売技術、商品売上計算など)による職業訓練の機会拡大並びに販売エリアの拡大ができました。これまで訪問販売は2班体制で限定されていたことから男性利用者を中心にした活動になっていましたが、増車により女性利用者の訪問販売活動体制の拡充がはかられています。

販売エリア拡大効果で、当事業所をはじめとする障がい福祉事業所への理解と啓発(障がい者差別撤廃)などの活動充実がはかられています。

また、当事業所での販売商品は、主に障がい福祉事業所で製造された商品を仕入れて訪問販売活動を行っています。

以下、新車購入による利用者の感想(ただし9月17



日納車翌日から9月30日までの間)

- 新規エリアで営業・販売していると充実しているし、もっと増やしたい。
- 新規エリアでサービス商品をわたしたらお礼をいわれ、うれしかった。
- 新車は、乗りごこちがよく気持ちがいいです。

(社福) 大木会 グループホーム碧天

【湖南市】

グループホーム碧天は、平成29年4月に開設し、現在は4名の男性が暮らし、地域の作業所に通所されています。平均年齢が33歳の若いグループホームです。4年目を迎えておりますが、これまで公用車がありませんでした。この度、第19回ダイトロン福祉財団様の助成金事業より助成金を賜り、公用車を購入することができました。入居者さんの休日の外出やドライブ、買い物等に活用したいと思っております。それぞれの自立をめざし、より社会経験が広がっていくよう取り組んでいきたいと思っております。本当に、ありがとうございました。



NPO法人 スポーツネットワーク ぱぴぷべぽん

【栗東市】

この度は、弊社の福祉活動に対してご支援いただき、誠にありがとうございます。私どもの活動をご理解いただき、ご協力いただいたご厚意に、弊社役職員一同、深く感謝申し上げます。

設立間もない事業所ですが、B型のご利用者様も入所が始まり、2021年春には、新卒の生活介護のご利用者様の入所も決定いたしました。



現在は、守山・栗東方面の送迎車一台で対応していますが、来春は、大津方面の送迎車が必要となっております。幸いにも、この度ダイトロン福祉財団様からの助成を賜り、大津方面用の送迎車一台を購入することができました。

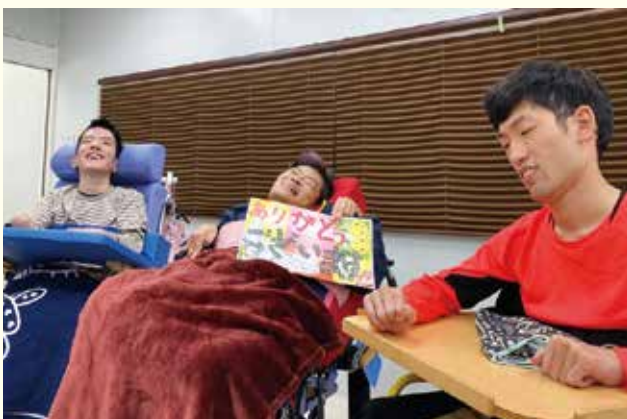
弊社は、これからも福祉の地位向上を目指して、活動を続けて参る所存でございます。結果のご報告に併せ、これをもちまして今回の助成に対するお礼の言葉とさせていただきます。

(社福) 共生シンフォニー

【大津市】

この度、ダイトロン福祉財団様より新規生活介護施設(通所施設)の移動リフト等に対して助成金を頂き、誠にありがとうございます。

2021年3月に開設予定の「ふぁんテンポ」は、身体障害と知的障害の重複されている重症心身障害者の方で常時車椅子を必要とされる方の生活介護事業所です。日々の日常生活のなかで入浴介助や車椅子から床・ベッドへの移乗行為が多いため、適切なケアを行い利用者さんへの安心に繋げていきます。又、地域交流や社会経験を積むこと等も目指していきたいと思っておりますのでご支援の程よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

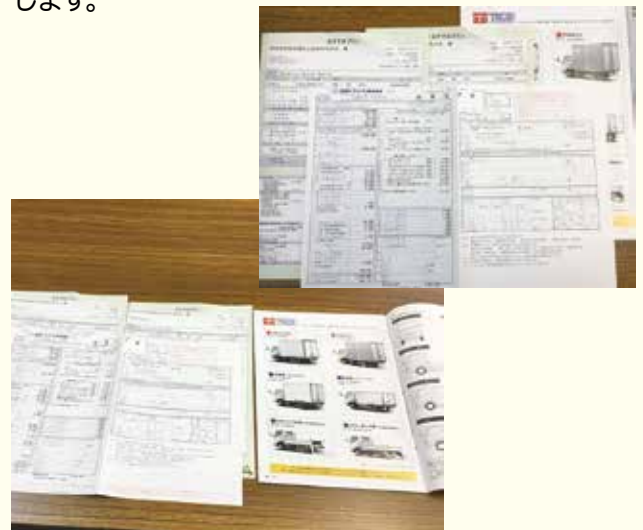


NPO法人 長浜みなみ会 長浜みなみ共同作業所

【長浜市】

この度は、本法人の事業内容にご理解をいただき、助成金をいただきまして誠に有り難う御座います。頂きました助成金と自己資金とで就労支援用トラック購入が無事に完了予定です。今年は例年と異なり新型コロナウイルスの影響も有りトラック等で架装等が必要な特別な自動車の納車等にも影響が出ました。本来であれば事業完了報告をさせて頂く予定でしたが1月納車予定で12月現在では未だです。新年の1月からは新しいトラックの使用ができるので今後の就労支援事業に生かしていきたいです。本事業所の就労支援事業では工賃向上を目標にリサイクル資源回収を行っています。回収品目は、古紙(段ボール、新聞・チラシ、雑誌)、飲料容器(アルミ缶、スチール缶、ペットボトル)です。また請負作業も近隣の企業様5社以上から頂き10種類以上のお仕事を頂いています。リサイクルと請負の事業を柱に頑張っていますが設備面では苦戦しがちです。この度、御財団から頂きました助成金で購入させて頂きましたトラックは大変ありがたいです。積載1.5tアルミバン架装で荷崩れ防止対策架装使用で内装にラッシングレール4本及びラッシングベルトで固定をすることにより安全に沢山の荷物が積めます。また、後ろからパレット2台分の荷物の積込みができパレットスライダ(パレットを移動させる器具)等と組み合わせると大変便利に使用できます。現在、コロナ禍においても夏以降仕事量が回復しつつあり、アフターコロナでは増える仕事に対しては迅速に対応できる様に準備をして利用者工賃の確保と向上に頑張りたいと思います。この度は、誠に有難う御座いました。

今後とも本法人へのご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。



NPO法人 ウェルメント ウェルメント米原 4

【米原市】

この度、令和2年度第19回ダイトロン福祉財団様の補助金を賜り、誠にありがとうございます。送迎の際、車いすのまま乗降車できる日産クリッパーを購入させていただきました。

令和2年5月に開所したばかりのウェルメント米原4ではB型事業所として、車いすの方の利用も受け入れを行っております。当社でも車いす対応の送迎車は初めてで、移乗の際の安全性向上・職員の負荷軽減が図れるようになりました。利用者・職員ともども『使いやすい!』『楽になった!!』と大いに喜んでおります!

この助成で購入した車両を活用する事で、これまで以上にすべての人にはたらく喜びを感じてもらえる職場作りができそうです。より一層幅広い受け入れ対応ができるよう大切に使用させていただきます。

ここに事業完了のご報告を申し上げますとともに、財団法人ダイトロン福祉財団様をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。



NPO法人 蓬菜の家 菜の家共同作業所

【大津市】

今般は助成事業に採択いただきまことにありがとうございます。本件シェア農園開業事業は当事業所に隣接致します休耕田の有効活用と当事業における障害福祉サービス事業の融合を実現させる事業でした。まず地域で利用されることのなくなった休耕田を利用することで地域の景観の保全、人の動きを生じさせその流



れを当事業所に引きよせ福祉事業所を地域のハブ機能にいたしました。休耕田をシェア農園にすることで複数の農園利用者を確保しその利用者が自身の作物管理の為日々福祉事業所に訪れることで障害のある利用者と農園利用者の接触機会をうみ福祉への理解も深めていただいていると感じております。又、農園を利用される方や開業を知られた消費者の方が当事業所で製造している製菓や作物などをお買い求め下さることで製造をおこなっている利用者の方の自信ややりがいにつながっております。休耕地をシェアファームに造成したことで地域にお住まいの方からも景観がよくなり大変助かったとお褒めの言葉や感謝のお言葉を頂戴し地域の方々にも大変喜んでいただいております。ダイトロン様より頂戴いたしました助成金のおかげで障害のある方が中心となって地域社会の活性化をおこなうことができました。



学校法人 関西福祉学園 働き教育センター 甲良

【犬上郡】

当事業所は「JA東びわこ」と連携し、就労移行支援・就労継続支援A型の事業所です。農作業（花の栽培や野菜の栽培等）を通じて仕事をする同時に訓練を行っています。

以前は、花栽培について様々な苦勞をしてきました。外気温が不安定のため、花の種を播いても発芽率が悪かったり、発芽してもポットに植え替えした時に寒さに耐えられず、育成が悪く十分な商品として提供できませんでした。そのため必要以上の種を播いていました。

今回、ダイトロン福祉財団より助成金を頂いて、発芽器とハウスを購入することができ、花や野菜の種の発芽率が以前より遥かに高くなり、またハウスを利用し温度等の一定管理することができ、花も元気よく生き生きと成長することができました。

今後もこれらを使って、効率よく花や野菜を育てて、障害を持った方に花や野菜が育つ楽しさや生き生きとした花を見て頑張れる元気をもちやりがいへとつなげられればよいと思っております。



(社福) 湘南学園 れもん会社

【大津市】

平成23年に、新体系に移行すると同時に新社屋も建設しました。建物の勾配の関係から、汚水槽を設置することとなり、新社屋のスタートと同時に毎日汚水槽のポンプも稼働することとなりました。



不特定多数の人が利用するトイレ。日常に必ず必要なものであり、普通に使えることが当たり前だと思っていた矢先、ポンプの異常を知らせるアラームが鳴りました。何度か設備業者にも来てもらい修繕を試みましたが、根本的な解決とはならず、この度、助成金を活用しポンプとシステム一式を交換することになりました。

汚水槽が何度もあふれ、その度にトイレの利用ができず、利用者にも不便をかけていましたが、今ではそのような心配もなく、快適にトイレを利用することができています。心より感謝申し上げます。



(社福) きぬがさ福祉会 きぬがさ作業所

【近江八幡市】

この度は「日産キャラバン」購入への助成金をいただき、誠にありがとうございました。弊所は「ひとりぼっちの障害者をなくそう」「障害者とその家族の願いに応える」「願いに応える事業を家族・関係者・地域と共同の力で実現する」「発達保障の理論に基づき『仲間が主人公』の実践を展開する。」という四つの理念に基づき、障害のある人が地域で働き、暮らしていけるように支援しています。現在の状況としては自立通所が困難な利用者がほとんどで、また外出や毎日の送迎に使用する自動車が不足、老朽化していました。そのため安心、安全に送迎、外出ができるよう、送迎車の整備を進めていく必要がありました。今回、助成していただいた「日産キャラバン」は多人数の利用者が乗車でき、オートステップ、手すりなど、障害のある利用者でも乗車しやすい車両です。毎日の送迎だけでなく、自主製品の納品、販売活動など、日々の授産活動でも活用させていただきます。ありがとうございました。



(社福) 八身福祉会 八身ワークショップ

【東近江市】

この度はダイロン福祉財団様より助成をいただき、スズキ「スペース(車いす移動車)」を購入することができました。

当事業所では施設外就労をサービスのひとつとして提供しており、毎日の通勤手段として自動車は必要不可欠ですが、これまで使用していた車両は老朽化が



目立つようになっていました。おかげさまで新しい車両を購入でき、作業に向かう利用者の方の気持ちも明るくなって喜んでいました。

また余暇活動では、車いす利用の方の移動手段としても活用させていただいています。後部座席が収納できるタイプで用途に合わせた使いわけができるので、いろいろな場面で活躍してくれています。

これからも多くの利用者のより良い支援に役立てるよう、大切に使用させていただきたいと思います。ありがとうございました。

(社福) 草津市社会福祉協議会
草津点字グループ あゆみ会 【草津市】

「あゆみ会」は今年設立40周年の点字ボランティア団体です。

当初は1点1点打つ点字版方式でしたが、カニタイプと呼ばれる6点同時打ちの道具に変わり、現在は点訳ソフトによるパソコン点訳を行っています。

20年ほど前から点字プリンターを使っていますが、近年たびたび不具合を起こすようになり、印刷に手間



取ることが増えました。経年劣化のため打点も浅くなってきました。

今回ダイトロン財団様から助成決定のお知らせをいただき、会員一同大変喜んでおります。購入予定の点字プリンターは小型で持ち運びが簡単、しかも倍速での印刷が可能です。

草津市は来年総合公共施設がオープンします。プリンターも新しくなり、気分新たに点訳活動に励むことができそうです。そして何より、視覚障害者の方々に安定して点訳版広報紙を届けられると思います。本当にありがとうございました。

(公財) 滋賀県身体障害者福祉協会

【草津市】

この度、ダイトロン福祉財団様から助成をいただき、指定管理者として管理運営しております滋賀県立障害者福祉センターのトレーニング室にトレッドミル



を購入させていただきました。当福祉センターは不特定多数の障害のある方々が優先的に利用できる施設で、施設には温水プールやアリーナ、トレーニング室、会議室等がありますが、開設して30年が過ぎています。

今回、老朽化している備品の更新をすることができ、コロナ禍からの利用再開に、最新の機器で利用者の皆様をお迎えすることができました。



日々の健康増進やリハビリテーションに大いに役立てていただきます。

誠にありがとうございました。

(社福) さわらび福祉会 第二さわらび作業所

【甲賀市】

この度は、「リフト付きワゴン車購入」への助成金を賜りありがとうございました。

当作業所は、設立から約40年が経過し、いづこも同様、高齢化と重度化が進み、昼間は「この作業所で仕事をしています」と、胸を張って通っていただいておりますが、今後取り組まなくてはならないのは、暮らしも含めた具体的な支援が必要になってきております。そういった現実を見つめながら、作業所運営を続けておりますが、やはり年を追うごとに足腰が弱ってきて、送迎も玄関から、さらに家の中に入られるまでの確認が必要になったりしています。また、何年か前まで歩行できていた方も、足腰が弱ってきて車いすを利用されるようになりといった変化もあります。

学校や地域からの新規の利用者もおられますが、やはり重度の方のご利用希望が多くなっております。そういった中でこの送迎車の助成金は本当にありがたいと思っております。当作業所は送迎あって成り立っております。大切につかわせていただきます。



(社福) よつば会 あったかグループホーム

【栗東市】

現在使用している車輛が10年以上経過している多走行車両であり、今回買い替え費用としてダイトロン

福祉財団様からいただいた助成金でワゴンRを購入いたしました。受診付き添いや食材の買い出しなど、新しくなって乗り降りしやすくなったと利用者の皆さん、とても喜んでおられます。この新しい車で日々の利用者送迎が安全にできることになりとても感謝しています。本当にありがとうございます。大切にに使わせていただきます。



(社福) 蒲生野会 サンライズ

【東近江市】

この度は「ハイエース10人乗り」購入への助成金を賜り、誠にありがとうございました。

子ども達の送迎や長期休暇の外出などに取り組むにあたり、車両が不足しておりましたので、購入させていただきました。ハイエースが納車された日は、子ども達もドキドキ・ワクワクで、「早く乗りたい!」「大きい車だ!」「すこいきれい!」と車の話で盛り上がりました。送迎中も広い車内で、お友達やスタッフとお喋りをしながら楽しく過ごすことができ、何気ない送迎が子ども達にとって、充実した時間となりました。今後も、安心・安全な運転を心がけ、大切に使用させていただきたいと思っております。



**(社福) 米原市社会福祉協議会
ほおずき作業所**

【米原市】

この度は、配達・引き取り作業用車両『スズキキャリー』の購入助成を頂き、誠にありがとうございました。

当施設では地域に根差したリサイクルショップを運営しており、軽トラックは日々の作業で欠かせません。年数回行うイベントでも使用し、軽トラックがないと業務に大きな支障が出ます。

このようにフル稼働していた軽トラも走行距離が12万キロを超え、かなり劣化の進んだ状態でした。安全に業務を継続するには、車両の買い替えが必要でしたので、今回の助成で新しい車両に買い替えることができ、職員・利用者一同大変喜んでおります。

今後も「地域で暮らす・働く・活動する」を一層充実させ、福祉と環境のまちづくりを目指していききたいと思います。



(社福) 湖南会 もりじろう

【守山市】



この度は、車両購入に対する助成金をいただき、誠にありがとうございました。

もりじろうでは、障がいのある児童の放課後や長

期休暇の支援を行っています。事業所の引っ越しにより、送迎の増便が必要となり困っていましたが、助成金をいただき、車両を購入することができました。また、新しい車両で外出することは、子どもたちの社会経験の幅を広げることにもつながり、児童・職員一同大変喜んでおります。今後は、子どもたちのより充実した過ごしの実現に向けて、活用させていただきます。

**(有) Ihoujin 適応教育教室
ハーフステップ**

【大津市】

当事業所は発達障害を持つ生徒が100名程度通ってきてくれており、駅から近く、広く明るい事業所です。しかし、トイレに関しては4年前の設立時より、いつかは改修したいねとスタッフ同士で話しておりました。トイレは男女に分かれており、広さは十分なのですが、薄暗く、床面が汚れており、怖がる生徒もおりました。この度、ダイトロン福祉財団様から助成金をいただき、念願のトイレの改修をすることができました。

今回の助成金でトイレのライトをLEDに交換し、床を白いシート状のものにし、壁面を塗り直すことができました。工事は1か月ほどかかりましたが、明るくきれいなトイレになったと感じております。



利用者の方からもきれいになってうれ

しいという声をいただきました。このような助成金がなければ、改修工事をするのは難しかったと思っています。安心して使える施設を目指して、子どもたちの学習支援、余暇支援に取り組んでいきたいと思ひます。

NPO法人 真 フォーラムはな

【長浜市】

本年は、多大なる御援助を賜り誠に有り難うございました。お蔭さまをもちまして、施設内は、かなり快適に過ごせるようになりました。

事務所や台所と子どもたちの過ごすルームの境には、はめ込み式の壁を設置、窓際には安全のための柵を設置し、子どもたちが血気盛んにはしゃぎまわっても安心して見守れる環境になりました。

ボルダリングは最初どうしていいのかわからず戸惑っていた子どもたちも、回数をこなすうちに上達し、成長していく過程をみることをとても喜ばしく感じております。

ほとんど口をきくこともなく、おとなしい子が何度も果敢に挑戦して、天井まで届くようになった時に「やった〜」と大きな声で叫んでくれた時は、見ていたスタッフも「やったね〜すご〜い」と叫んでいました。

このような経験を積むことが出来るのも、ダイトロン福祉財団様のお蔭と皆で感謝しております。ありがとうございました。



株イケダ光音堂
キッズパーク放課後等デイサービス 【長浜市】

「今日も外で遊びたい!」「電車見えるかな?」子どもたちは毎日外で遊ぶのを楽しみに学校から帰ってきます。この度は貴重な財団の助成金でフェンスを設置



していただき、ありがとうございました。事業所の目の前を県道が通っているため車の行き来が激しく危険だったのですが、安全に、安心して外遊びができるようになりました。庭からは電車の往来が見え、子どもたちは大喜びです。また、遠くには伊吹山を望むこともできるので、これから季節の移り変わりや山の彩りなど、子どもたちと一緒にいるいろいろな感性を研ぎ澄ましていきたいと思います。外で遊んでいると地域の方々からも「こんにちは〜!」と声をかけていただき、交流の機会も増えました。これからも子どもたちがのびのびと健やかに過ごせるように環境を整えて行きたいと思います。「安全・安心」という大きな贈り物をありがとうございました。

(社福) パレット・ミル
自立就労センターパレット・ミル 【栗東市】

この度、ダイトロン福祉財団様より助成金を頂き、長期(24年間)稼働してきたフォークリフトを買い替えることができました。誠にありがとうございました。旧フォークリフトはパレット・ミルの創設当時から活躍してきました。現在では、遊具材、木製パレット、発泡インゴット出荷時の荷積みや資材等の荷降ろし、また、軽



作業の資材等々の荷積み・荷降ろしや雪かきなど色々な場面で活躍し、当法人の請負作業が幅広く展開できたのもフォークリフトのおかげであると言っても過言ではありません。しかし故障が多くなり、維持費用

も高額(本年度見積り:約55万円)になってきました。今回のご助成で買い替えたフォークリフトは、必要な機能のみを装備したため小型・軽量で前方の視野が広くなり、速度制限が可能となったので、アスファルトの損傷もなく、今まで以上に安全に運転ができるようになりました。今後も、利用者の高賃金につながる施設内作業を取り込んでいきたいと思います。

(株)チャレンジファーム

【湖南省】

ダイトロン福祉財団様の第19回障がい者福祉助成金を賜り誠にありがとうございます。今回は貴重な助成金のお陰で念願の「卵・蜂蜜の配達用の軽バン」を購入させて頂きました。

創業時より資本金も少なく、配達は私用の軽トラで対応しておりましたが、雪や雨の時は大変苦勞をしていました。お陰様で商品も濡れずに配達させて頂き大変喜んでおります。

経営は黒字なのですが、令和3年度春にはNPO法人を立上げ、湖南省での障がい者の就労支援・就労移行の作業所の立上げを計画しており、利用者への受入れに対し設備費が多くいる中で、ダイトロン福祉財団様より頂戴した補助金は天の助けです。



この軽バンはマルシェ等への販売活動や今後の事業の拡大に、未永く有効利用させて頂きます。この度は本当にありがとうございました。

NPO法人 元気っずミーオ

【草津市】

この度は車両購入に係る助成金を賜り、心よりお礼申し上げます。

就労継続支援B型のベーカリー&カ

フェ協本陣では、パンの製造販売と農園事業として野菜の栽培から販売までを行っています。パンや野菜は店舗での販売以外に、地域に出て販売もしています。加えて市内施設への清掃作業も行っており、慢性的な車両不足で活動にも制限がかかる状況でした。車両が確保できたことで販売も活動も充実し、地域の方々の繋がりも増えました。私たちが作るパンや野菜を楽しみにしてくれるファンも増えているのを感じます。改めて私たちの活動は沢山の方々の理解と協力のもと成り立っているのだと感じました。ダイトロン福祉財団及び財団に寄付して頂いたみなさまに感謝申し上げます。



(社福) 滋賀県聴覚障害者福祉協会

【草津市】

当法人は、今回ダイトロン福祉財団の第19回障害者福祉助成金(第2号事業)を受けて調査を進めています。

高齢化社会が進む中、高齢聴覚障害者の生活や介護へのニーズが高まっています。現在、県内では、高齢者を対象にしたサロンや学習の場を設けるなど自主的な活動も行われていますが、一部の地域にとどまっています。高齢の聴覚障害者が気軽に集まり交流できる場や、介護ニーズに対応できるサービスも少ないのが現状です。また、ろうあ協会や難聴者協会でも、



高齢会員の占める比率は高まっており、老後の生活を支援する受け皿づくりが急務となっています。

聴覚障害者福祉協会では、2007年(平成19年)に「聴覚障害者の生活実態調査」を行いました。既に13年が経過しましたので、この度高齢の聴覚障害者が地域社会とどのように関わり生活しているのか、家族や周りの人たちとのコミュニケーションの状況はどうか、健康介護についての悩みは何なのか、今後、高齢者を支援していくために必要なことは何かを調査して、その結果に基づいて社会資源づくりに向けた計画づくりをすすめていく予定です。

今回の調査は、コロナ禍のなかでの調査で、面談などの聞き取りでは困難も予想されます。また、調査には多くの協力者が必要です。行政をはじめ、関係団体、支援団体にもご協力をお願いします。

特定非営利活動法人さんまクラブ 放課後等デイサービスさんま

【甲賀市】

この度はダイトロン福祉財団様より送迎用車両の助成をいただき、誠にありがとうございます。

2014年より子どもたちの放課後の居場所として任意事業「放課後さんまクラブ」を開始し、2018年5月から放課後等デイサービス事業所「さんま」を開始しました。甲賀市内外9小学、特別支援校から来ている



子どもたちの、学校から事業所、事業所から自宅への送迎用の車両が少なく、スタッフの自家用車を借りての運用となっていました。また、甲賀地域には放課後等デイサービス事業所がまだまだ少なく市中心部に集中している現状があります。広大な範囲に点在している甲賀地域の子どもたちのニーズをカバーするために送迎用車両の整備は急務でした。この度ダイトロン福祉財団様より車両(ホンダステップワゴン8人乗り)の助成をいただき、より安全に子どもたちの送迎業務が行えるようになりました。

新しい車の登場に子どもたちも、とても喜んでいきます。送迎時に「ステップワゴンがいい!」と希望する子どもたちが多く、「ごめん!また今度ね!」と順番を待ってもらっています。子どもたちにとってより良い居場所となるよう、この助成を大切に用いて活動してまいります。

SUNNYSIDE 合同会社 おひさまはうす

【草津市】

この度は、ダイトロン福祉財団様から車いす対応(スロープ付)の福祉車両の助成金を頂き、誠にありがとうございました。

おひさまはうすは開所して、2年8ヶ月経ちますが、おかげさまで利用者数も増加しており、車いすご利用の方も必然的に増加しており、車いす対応(スロープ付)の福祉車両の保有が大きな課題でした。

購入させて頂きました、ススキエブリーワゴンは、軽自動車ですが車いす利用の方が乗られても定員の4名乗車が可能ですので送迎時の効率がよいです。又、



車高もあるので非常に乗り入れがしやすいです。

納車後、2週間が経ちますが、利用者(保護者含む)からも職員からも好評です。

一にも二にも、『安全・安心』をモットーに大切に永く使わせて頂きます。

(社福) 汀会 止揚学園

【東近江市】



20年使用している衣類乾燥機が頻繁に壊れ、次壊れると修理出来ないと言われていたので冷や冷やしながら使っておりましたが、この度ダイロン福祉財団様よりタンブラー衣類乾燥機16kgの2段式設置の助成をいただくことが出来、感謝と喜びでいっぱいです。入園されている方の高齢化に伴い、洗濯の量と頻度が増えて参りました。また衣類へのこだわりが強く同じ服を毎日着たいという方もおられます。洗濯は職員が行っておりますが、この衣類乾燥機は2段式なので、衣類の種類・用途ごとに乾燥出来るため効率よく乾かすことが出来ると喜んでおります。肌触りが良く柔らかかに乾いた気持ちの良い衣類、お気に入りの衣類をいつでも仲間の皆さんに身に着けていただくことが出来るので雨の日でも安心です。

ダイロン福祉財団の皆様の優しさを、ふわふわに乾いた衣類に触れるたび感じる日々です。本当にありがとうございました。

(公社) おうみ犯罪被害者支援センター

【大津市】

日々の支援活動の中で、子どもの被害の多さ・被害の深刻さに直面し、学校教育の中で日常的に子どもたちへ被害予防のために必要なことが伝えられる・教えられることが大切だと痛感しています。子どもたちに予防教育が浸透していくためには、まず、教職員の方々が子ども・青少年でも起こりうる暴力やデートDVについて理解を深めることが必要だと考えています。当センターでこれまで実施してきたデートDV予防啓発授業で、受講生や教職員の方々から得られた授業の質問や感想、要望をもとに、教職員の方々が生徒に伝える上での解説書となる資料を作成しています。子どもたちの被害予防のために役立つ教育資料が出来上がることをご期待いただきますようお願いいたします。



NPO法人 BRAHart

【大津市】

この度は、当法人の事業に助成いただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの猛威により、私たちはもちろん、周辺地域の普段お世話になっている方々にも大きな影響が見られました。そんな中でも、私どもの活動を理解し、支援して下さる皆さんをなんとか応援したいと思い、地域の住民や企業を取材し、応援する本が作る、また、周辺飲食店のテイクアウト商品を配達するデリバリー事業を計画しました。

デリバリー事業は、周辺の5店舗のお店、3つの福祉事業者と共同し、集配を行いました。



今後の障がい福祉分野の仕事づくりにもつながる取り組みになったと感じています。

BRAH=art.の礎ともなった方々を取材し、地域社会を応援するための本づくり。コロナ禍においては、地域産業も、社会生活もみんなが大変な状況。それぞれの原点に迫るような取材を試みました。本にすることもさっておき、それぞれの原点を一緒に話すことで、皆さんの表情に活力がみなぎっていく様子が感じられています。



NPO法人 きらら きららホーム

【草津市】



令和元年度に、近い将来に到来が想定されている南海トラフ地震を想定(震度6弱)した耐震診断を受けたところ、「倒壊する可能性が高い」との診断結果でした。今回貴財団の補助を得て実施した耐震化改修(瓦屋根を鋼板屋根に葺替え、屋根下地を一新し強度を高める)により建物強度を高められ、障害のある方の生活拠点に、安心

と安全という土台を付加することが出来ました。

きららホームは、青地ホーム(女子定員4名)、志津ホーム(男子定員5名)の2つの居住ホームのあるグループホームです。



青地ホームは、平成23年に発足し内装などはグループホームに必要な改装を施しましたが、土台となる家屋の補強は出来ないままでいました。

頂いたご援助に感謝しつつ、今後も障害のある人の日常生活援助、健康管理、余暇支援等に務めてまいります。

(社福) 虹の会 ドリーム・あんです

【高島市】

ドリーム・あんですは、平成15年より製菓を中心に高島市で事業を行い、地域のイベントや観光施設で販売をしています。メタセコイヤ並木、白髭神社、海津大崎などみどころも多く、観光客で賑わっています。

ある日利用者の方たちと「自分たちの作ったお菓子がどんな感じで販売されているのか見に行こう!」と出かけたところ・・・商品の魅力がお客様にちゃんと伝わっているのかな?

他のお土産物と比べると、なんだかパッケージが寂しく感じました。

お菓子のおいしさ、利用者さんや職員の思い。商品に込めた様々なストーリーを、何とかパッケージで表



現出来ないだろうか。そのような思いから、今回助成金を申請させていただき、現在デザイナーとの打ち合わせが進行中です。中間地点ではありますが、素敵なパッケージが出来上がりそうです。

あんですの商品が、より魅力ある商品に生まれ変わり多くの人に手に渡ることで、利用者の方々の働き甲斐につなげたいと思います。

(社福) こなんSSN 凧日和 (カイトビヨリ)

【東近江市】

この度の助成金で、令和3年3月に完成予定の凧日和の新築移転のエレベーター設置にあたり、助成を賜り心より感謝申し上げます。凧日和では、精神障がいや精神疾患を持つ利用者が、自分らしく充実した生活を営めるよう、作業や余暇活動を行っています。

今までの古い建物はエレベーターがなく、高齢の利用者などが施設内を安全に移動出来ず、不便な思いをされていました。新しい建物では誰もがバリアフリーで快適に過ごせる環境になり、大変喜んでおります。東近江市内には、精神障がいに特化した作業所が少ししかないので、今後も利用者の皆さんが安心して過ごせる居場所作りや、新しい建物を活かした利用者主体の自主活動の充実をはかっていきたいと思っています。

本当にありがとうございました。



第17回土と色京都展実行委員会

【甲賀市】

<第17回 土と色—ひびきあう世界— 京都展>

2021年2月23日(火)～28日(日)

於：京都市京セラ美術館

1982年に「土と色…ちえおくれの世界」展の第1回目を京都市美術館にて開催以降、18年間で10回開催し、2006年からは「土と色 ひびきあう世界」展とし

て開催してきました。そして前回開催より4年、初回開催より約40年を経て、この度生まれ変わった京都市京セラ美術館で2002年2月23日から28日まで第17回目を開催の運びとなりました。

この展覧会では、京都府、滋賀県にある障が

い児施設などを利用している人たちの絵画や粘土の作品を展示しています。これらの作品は、展示するための作品づくりではなく、彼らが毎日を生きて行く過程（施設での作業や創作の時間など）において、彼らの心の奥底から迸る感情、力強さが形作られて一つの作品となっていきます。皆さんにも是非、コロナ禍の中でも変わらず日々造形活動続ける彼らの身体、心の奥底から湧き出る思いを感じ取っていただきたいと思います。

最後に、我々の活動を支援して下さる当財団や京都新聞社会福祉事業団、その他京都、滋賀の後援して下さる方々に心より感謝申し上げます。



……………その他のニュース……………

瑞穂町より感謝状を頂きました

令和元年にダイトロングループの多摩工場がある瑞穂町役場に福祉車両等を寄贈させて頂いたところ、同町の「町制施行八十周年記念式典」(令和2年11月10日開催)にて、同財団に感謝状を頂きました。

当日は、東京都の小池知事も参列、祝辞を述べられたとのこと。当社からは、多摩工場の尾崎工場長代理(機械装置工場多摩)と橋本工場長代理(特機工場)に参列して頂き、感謝状を受けとって頂きました。



<多摩工場>

法務大臣より感謝状を頂きました



昨年に引き続き、今年度も更生保護法人 滋賀県更正保護事業協会(理事長: 大道 良夫 様)に寄贈させて頂いたところ、法務大臣(森 まさこ 様)より感謝状を頂きました。

ダイトロン福祉財団は、明るい社会の実現に向けて幅広い活動を行っています。

財団のWebサイトを開設しました



待ちに待ったダイトロン福祉財団のWebサイトを開設いたしました。

今後、このWebサイトを活用して、法人情報の公開、助成金の応募情報の提供、寄付金のご支援の依頼など情報発信を行っていくとともに、より充実したWebサイトになるよう取り組んでいきます。当財団のHPは、パソコン以外でタブレット、スマホからもみることができます。

ぜひ一度当財団のWebサイトを閲覧してください。



<https://daitron-fukushi.org>

公益財団法人 **ダイترون福祉財団****第20回障害者福祉助成金申込のご案内****<第20回記念助成事業>****《趣旨》**

本年度も当財団の目的および事業に対する社会的要望に応えるため、障害福祉サービス事業所等への資金援助を行うとともに、障害者の社会参加と生活向上等に関する調査研究のための支援を行います。第19回の助成事業の効果を確認し、昨年と同様に特別助成事業も行います。

加えて本年度は助成事業開始から20回目の節目にあたり、その特別記念助成としてさらに1,000万円を追加します。

従って、第20回障害者福祉助成金の公募については、下記の要綱のとおり総額5,500万円を限度として募集を実施致します。

《助成金申込要綱》

記

1. 助成対象事業

(1) 障害福祉サービス事業所等に対する設備費等助成事業(第1号事業)

ア. 助成対象 滋賀県内の障害福祉サービス事業所等の積極的な事業展開のために必要な設備、資材および作業所等環境改善に対する助成

イ. 助成金額 1件あたり150万円以内【但し、総事業費の80%以内とする】

助成金総額 3,300万円以内

(2) 障害者の社会参加の促進と生活向上等に寄与する調査研究のための助成事業(第2号事業)

ア. 助成対象 滋賀県内の社会福祉法人、公益法人等が行う障害者福祉にかかる調査研究に対する助成

イ. 助成金総額 200万円以内

ウ. 助成件数 3件程度

(3) 特別助成事業(第3号事業)

障害者の福祉向上に寄与する施設等に特別の助成を行う。但し、上記(1)、(2)に含まれない、または(1)、(2)の枠を超える事業とする。

ア. 助成対象 滋賀県内の施設等(社会福祉法人、公益法人等含む)

イ. 助成金総額 2,000万円以内

ウ. 助成件数 15件程度

2. 特記事項

国、地方公共団体等からの補助および他の民間助成団体からの助成と重複しての助成は致しません。

3. 助成申請方法

助成金申請書に必要事項を記入のうえ、提出して下さい。

[申込書に添付の書類]

①事業計画書(別紙のとおり)

②見積書(物品等の場合は業者の指定はありません)

※車の買替の場合(使用年数10年以上又は走行距離10万km以上が対象)は車検証のコピー、新規事業の場合はその用途を明記したもの

③定款、寄附行為または規約(法人、団体の場合) ④ 役員名簿

④直近の承認済収支決算書(令和2年度分が提出不可の場合は令和元年度分)

4. 申請書提出(送付)先

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-6-11 ダイトロン(株)内
公益財団法人ダイトロン福祉財団 大阪連絡所

5. 申請期間(郵送にて)

令和3年3月8日(月)～令和3年4月23日(金)消印有効

6. 助成決定

助成の採否については、5月に開催する選考委員会で選考し、6月開催の理事会において決定後、6月下旬に個別に通知します。

7. 助成金の交付及び贈呈式

助成金は、贈呈式以降に交付します。

助成金贈呈式は、9月7日(火)ピアザ淡海を予定しています。

8. 事業完了報告

(1) 第1号事業及び第3号事業については、助成事業終了後速やかに(令和3年11月30日(火)まで)に当財団に完了報告書を郵送にて提出願います。

(2) 第2号事業については、助成決定後1年以内に完了報告書を提出願います。(但し、令和3年11月30日までに中間報告書を提出願います)

9. 助成の取り消し

助成事業の遂行が不可能と認められるとき、あるいは助成金が目的外に使用されたときは、助成の取り消しまたは助成金の返還を求めることがあります。

連絡・問い合わせ先：公益財団法人ダイトロン福祉財団

(事務局)森谷、木村、寺嶋

TEL 06-7636-1012 FAX 06-6399-5216

E-mail アドレス：d-fukushi@daitron.co.jp

* 令和3年度の助成金募集に関する情報は、当財団のホームページに掲載されています。
また、社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会様のウェブサイト、<http://www.shigashakyo.jp/>の「助成金情報」にご掲載いただいておりますので、そこからでもアクセスが可能です。
(令和3年2月上旬から掲載予定)

【令和2年度の寄附者の方々】

敬称は省略、「あいうえお」順とさせていただいております。

1. 個人及び一般企業の皆さまからのご寄附

有賀 真也	北嶋 紀子	清宗 正明	寺嶋 仁志	仁井 光明	森下 祐子
アソフェノルジャパン	木村 恒子	高木 正浩	寺嶋 美香	筈井 和宏	森田 潤子
飯塚 経治	木村 正仁	高橋 亜希子	所 慶一郎	林 知加子	森谷 敏春
伊丹 美聡	久納 文男	高本 勢津子	飛井 清隆	福島 通晴	八木 春作
氏原 稔	熊田 史朗	高本 敬	鳥野 良子	福留 勉	矢野 宏明
江本 明子	栗山 聖子	竹原 佳杏	長崎 大輔	藤岡 勤	山本 泰人
江本 美代子	黒澤 武司	竹村 功	中島 光晴	藤本 敦朗	横山 広男
大木 時彦	小菅 甚蔵	谷本 豊	中田 敬介	藤木 勇	横山 和則
大橋 文雄	小寺 勝	垂見 香奈	中田 健作	藤森 紀子	吉岡 宏展
沖友 正幸	小林 雅則	千原 恒人	中田 耕平	前 績行	代田 安俊
尾崎 雅英	紺谷 健治	寺嶋 喜一	仲田 聡	前田 里菜	和田 徹
片山 博文	隅田 和夫	寺嶋 初美	中村 純一	三尾 高之	渡邊 舞

計 81 名 845,000 円

2. ダイトロン株式会社様からのご寄附

1 社 20,000,000 円

寄附金合計 20,845,000 円

※個人及び一般企業の皆さまからのご寄附には匿名をご希望の方が9名いらっしゃいます

【ご寄附の金額 および 助成金額 の状況】

		平成29年(2017)度	平成30年(2018)度	令和元年(2019)度	令和2年(2020)度	
寄附者の総数		113名	124名	106名	82名	
寄附金額		21,580,000円	21,666,396円	20,887,000円	20,845,000円	
内 訳	ダイトロン・ グループ企業	寄附者数	1法人	1法人	1法人	
		寄附金額	20,000,000円	20,000,000円	20,000,000円	20,000,000円
	個人及び団体	寄附者数	112名	123名	105名	81名
		寄附金額	1,580,000円	1,666,396円	887,000円	845,000円
助成金額		30,600,000円	36,669,000円	48,076,000円	49,177,000円	

財団事務局より

「ダイトロン福祉だより」をご覧の皆さまには、いつも大変お世話になりましてありがとうございます。
皆様におかれましては、コロナ禍の中で大変なご苦勞をされておられると案じております。当財団も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度は贈呈式を断念せざるえませんでした。一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康をお祈り申し上げます。
さて、令和3年度は当財団が助成事業を始めて20回目となります。こうして記念すべき助成を迎えられますのも、皆様方のご支援とご協力のおかげと感謝しております。
当財団は、「真心こめたふれあいと助け合い」の精神で、地域に根差した活動を行ってまいります。



— 福祉だより作成にあたり感想文、写真等のご提供、ご協力誠にありがとうございました —